

解答

③・⑤・⑦

解答解説

① 不正解

選択肢の和訳

国立博物館は、均衡の取れた歴史像を作るために、伝統的に政治指導者、労働者、移民、女性、先住民の共同体を同じ程度に取り上げてきた。

本文の対応箇所

第2段落

For a long time, national museums tended to emphasize the achievements of political leaders, military heroes, wealthy families, and dominant social groups.

「長い間、国立博物館は、政治指導者、軍事的英雄、裕福な一族、支配的な社会集団の功績を強調する傾向があった。」

The experiences of workers, women, indigenous communities, immigrants, and other minorities received far less attention.

「労働者、女性、先住民の共同体、移民、その他の少数派の経験には、はるかに少ない注意しか向けられなかった。」

解説

本文では、国立博物館は支配的な集団を中心に展示し、労働者や女性、移民などには十分な注意を向けてこなかったと述べられている。したがって、equal attention「同じ程度の注意」が誤りである。

② 不正解

選択肢の和訳

個人的な手紙、日記、写真、録音されたインタビューは、歴史的出来事が一般の人々にどのような影響を与えたかを明らかにできないため、一般に公的統計よりも役に立たない。

本文の対応箇所

第3段落

Such materials may appear less impressive than royal treasures or famous works of art, but they

can reveal how historical events affected everyday life.

「そのような資料は、王室の宝物や有名な芸術作品ほど印象的には見えないかもしれないが、歴史的出来事が日常生活にどのような影響を与えたかを明らかにすることができる。」

A worker's diary, for example, may show the human consequences of an economic crisis more directly than official government statistics.

「例えば、ある労働者の日記は、経済危機が人間にもたらした影響を、政府の公式統計よりも直接的に示すことがある。」

解説

本文では、個人的な記録は、歴史的出来事が日常生活に及ぼした影響を示すうえで有用だと述べられている。場合によっては、公的統計より直接的に影響を伝えることもある。したがって不一致。

③ 正解

選択肢の和訳

博物館は、それまで十分に扱われてこなかった観点から歴史的出来事を示すために、日用品や個人的な記録を以前より多く利用するようになっている。

本文の対応箇所

第3段落

In recent decades, many museums have attempted to broaden the range of stories they present.

「ここ数十年、多くの博物館は、展示する物語の範囲を広げようとしてきた。」

Some have collected ordinary household objects, personal letters, photographs, and recorded interviews.

「日常の家庭用品、個人的な手紙、写真、録音されたインタビューを収集している博物館もある。」

By including personal experiences, museums can make history more complex, but also more meaningful.

「個人の経験を含めることで、博物館は歴史をより複雑であると同時に、より意味深いものにすることができる。」

解説

WPM Over 150 を目指す

選択肢の everyday objects and personal records は、本文の ordinary household objects, personal letters, photographs, and recorded interviews に対応している。また、従来あまり注目されなかった人々の視点を取り入れる目的とも一致する。

④ 不正解

選択肢の和訳

本文は、論争のある記念碑を公共の場所に残すことは、その記念碑が表す価値観を必ず支持することになるため、常に撤去すべきだと主張している。

本文の対応箇所

第4段落

In such cases, removing the monument may be criticized as an attempt to erase history, while leaving it unchanged may appear to approve of the values it represents.

「そのような場合、記念碑を撤去することは歴史を消そうとする試みだと批判される可能性がある一方、そのまま残すことは、記念碑が表す価値観を支持しているように見える場合がある。」

第5段落

Some historians therefore argue that the most effective response is not simply to preserve or destroy controversial objects, but to provide additional context.

「そのため、一部の歴史家は、最も効果的な対応は論争のある物を単純に保存したり破壊したりすることではなく、追加の背景説明を与えることだと主張している。」

解説

本文は、論争のある記念碑を常に撤去すべきだとは述べていない。保存か撤去かという二者択一ではなく、背景説明を加える方法が提案されている。したがって should always be removed が誤りである。

⑤ 正解

選択肢の和訳

論争のある物について歴史的背景を示すことは、その物が本来持っていた意義と、現在それが批判されている理由の両方

を、訪問者が理解する助けとなる可能性がある。

本文の対応箇所

第5段落

A statue may remain in place while new signs explain both the achievements of the person represented and the suffering caused by that person's policies.

「像をその場所に残したまま、新しい説明板によって、表現されている人物の功績と、その人物の政策が引き起こした苦しみの両方を説明することができる。」

Context does not eliminate disagreement, but it can help visitors understand why the object has become controversial.

「背景説明によって意見の相違がなくなるわけではないが、その物がなぜ論争の対象となったのかを、訪問者が理解する助けにはなる。」

解説

選択肢の original significance は人物の功績や像が作られた時代の意味に、the reasons it is criticized today は、その政策がもたらした苦しみや現在の論争に対応している。したがって本文と一致する。

⑥ 不正解

選択肢の和訳

電子ファイルは技術の変化や財政上の問題の影響を受けないため、デジタル保存によって文化資料が永久に利用できることが保証される。

本文の対応箇所

第6段落

Nevertheless, digital preservation has limitations.

「しかし、デジタル保存には限界がある。」

Files may become unreadable as technology changes, websites may disappear, and online collections may depend on institutions that lack permanent funding.

「技術の変化によってファイルが読み取れなくなったり、ウェブサイトが消滅したり、オンライン資料が永続的な資金を持たない機関に依存していたりする場合がある。」

解説

WPM Over 150 を目指す

本文では、デジタル保存は永久的な利用を保証するものではないと述べられている。技術の変化やウェブサイトの消滅、資金不足などの問題があるため、選択肢は本文と反対である。

⑦ 正解

選択肢の和訳

植民地支配の時代に持ち出された博物館所蔵品をめぐる争いには、正義、文化的アイデンティティ、共同体が自らの文化遺産を管理する権限に関する問題が含まれている。

本文の対応箇所

第7段落

Many museums possess objects that were removed from their original communities during periods of colonial rule, war, or unequal trade.

「多くの博物館は、植民地支配、戦争、不平等な交易の時代に、元の共同体から持ち出された物を所蔵している。」

The communities of origin, however, may regard the objects as sacred, historically significant, or essential to their identity.

「しかし、元の共同体は、それらの品を神聖で、歴史的に重要であり、自らのアイデンティティに不可欠なものと考えている場合がある。」

Requests for their return therefore involve more than legal ownership; they raise questions about justice, dignity, and the right of communities to control their own heritage.

「したがって、それらの返還要求は法的所有権以上の問題を含み、正義、尊厳、共同体が自らの文化遺産を管理する権利に関する問題を提起する。」

解説

選択肢の justice、cultural identity、communities' authority over their own heritage は、それぞれ本文の正義、アイデンティティ、文化遺産を管理する権利に対応している。したがって本文と一致する。

⑧ 不正解

選択肢の和訳

筆者は、過去をめぐる意見の相違を徐々になくすために、社会は最終的で疑う余地のない一つの歴史像を確立すべきだ

と考えている。

本文の対応箇所

第8段落

The goal should not be to create a single, unquestionable version of history, but to make room for evidence, disagreement, and revision.

「目標は、疑う余地のない一つの歴史像を作ることではなく、証拠、意見の相違、見直しの余地を設けることである。」

A society remembers its past responsibly not when it avoids uncomfortable facts, but when it allows different voices to challenge the stories it has inherited.

「社会が責任を持って過去を記憶するのは、不都合な事実を避けるときではなく、異なる声が受け継がれてきた物語に異議を唱えることを認めるときである。」

解説

本文は、一つの確定した歴史像を作ことを否定している。証拠、意見の相違、歴史解釈の見直しを認めるべきだとしているため、選択肢は本文と反対である。

全訳

過去の記憶は誰のものか

博物館、記念碑、公文書館、史跡は、社会が集合的な記憶を保存する場所だと考えられることが多い。そうした場所は、そうでなければ失われる可能性のある品物、建造物、文書、物語を保護している。そのような場所を訪れることで、人々は過去の世代がどのように暮らし、何を大切に、彼らの決断が現在をどのように形作ったのかを学ぶことができる。しかし、文化的記憶とは、保存されるのを待っている事実を単に集めたものではない。どの出来事が注目に値するのか、誰の経験を示すべきなのか、そして過去をどのように解釈すべきなのかという選択の結果でもある。

長い間、国立博物館は、政治指導者、軍事的英雄、裕福な一族、支配的な社会集団の功績を強調する傾向があった。その展示はしばしば、歴史を進歩と国家的統一が途切れることなく続く物語として示していた。労働者、女性、先住民の共同体、移民、その他の少数派の経験には、はるかに少ない注意しか向けられなかった。これは必ずしも、学芸員が意図的に訪問者を欺こうとしたという意味ではない。むしろ、誰の声

WPM Over 150 を目指す

が排除されてきたのかを検討することなく、自分たちの社会の価値観や前提を受け入れていたことが多かったのである。

ここ数十年、多くの博物館は、展示する物語の範囲を広げようとしてきた。日常の家庭用品、個人的な手紙、写真、録音されたインタビューを収集している博物館もある。そのような資料は、王室の宝物や有名な芸術作品ほど印象的には見えないかもしれないが、歴史的出来事が日常生活にどのような影響を与えたかを明らかにすることができる。例えば、ある労働者の日記は、経済危機が人間にもたらした影響を、政府の公式統計よりも直接的に示す場合がある。個人の経験を含めることで、博物館は歴史をより複雑なものにすると同時に、より意味深いものにすることができる。

しかし、歴史上の表現の範囲を広げると、対立が生じることもある。異なる集団が、同じ出来事をまったく異なる方法で記憶している場合がある。ある共同体が祝う軍事的勝利が、別の共同体には侵略や国家的悲劇として記憶されているかもしれない。ある政治指導者をたたえる目的で建てられた記念碑が、別の人々には抑圧や差別を思い起こさせることもある。このような場合、記念碑を撤去することは歴史を消そうとする行為だと批判される可能性がある一方、そのまま残すことは、記念碑が表す価値観を支持しているように見える場合がある。

そのため、一部の歴史家は、最も効果的な対応は、論争のある物を単純に保存したり破壊したりすることではなく、追加の背景説明を示すことだと主張している。像をその場所に残したまま、新しい説明板によって、表されている人物の功績と、その人物の政策が引き起こした苦しみの方を説明することができる。また、その物を博物館へ移し、それが作られた時代を示す証拠として解説することもできる。背景説明によって意見の相違がなくなるわけではないが、その物がなぜ論

争の対象となったのかを、訪問者が理解する助けにはなる。

デジタル技術は、文化的記憶を保存するためのさらなる可能性を生み出した。公文書館は壊れやすい文書をスキャンでき、博物館はオンライン上の展示を作ることができ、共同体は、それまで口頭でのみ伝えられてきた物語を記録することができる。このような方法によって、遠く離れた場所にいる人々も、かつては専門家しか利用できなかった資料に接することができる。しかし、デジタル保存には限界がある。技術が変化するとファイルを読み取れなくなることがあり、ウェブサイトが消滅する可能性もあり、オンライン資料が永続的な資金を持たない機関に依存している場合もある。

もう一つの問題は、所有権に関するものである。多くの博物館は、植民地支配、戦争、不平等な交易の時代に、元の共同体から持ち出された物を所蔵している。これらの物を保有する機関は、それらを安全に保存し、国際的な人々が利用できるようにしていると主張するかもしれない。しかし、それらの品がもともと属していた共同体は、それらを神聖で、歴史的に重要であり、自らのアイデンティティーに不可欠なものと考えている場合がある。したがって、それらの返還要求は、法的な所有権だけに関わるものではない。正義、尊厳、そして共同体が自らの文化遺産を管理する権利に関する問題を提起するのである。

文化的記憶は、過去を完全に正確に描いたものとして理解すべきではない。保存するという行為はすべて、特定の経験を目立たせる一方で、別の経験を見えにくくする。目標は、疑う余地のない一つの歴史像を作ることではなく、証拠、意見の相違、見直しの余地を設けることである。社会が責任を持って過去を記憶するのは、都合の良い事実を避けるときではなく、異なる声が、受け継がれてきた物語に異議を唱えることを認めるときなのである。